

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会思想史	伊藤 信也	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	この講義は、隔年で「西洋中心の社会思想史」と「日本中心の社会思想史」を交互に特集しています。今年は西洋の社会思想の歴史に注目して学んでいきます。西洋の社会思想の理解を通じて、世界と日本の現代社会のあり方を見直すことを目的としています。近代の歴史に対する理解を深め、誤解を改めるきっかけとなることでしょうか。また、この講義では「貧困からの解放」というサブテーマを設定し、そのテーマに沿った社会思想も取り上げていきます。思想家の人間観や、そこから生まれた社会理解を通じて、私たち自身の現代社会に対する理解を再検討することが、社会と私たちとの関係の本質を理解することにつながります。						
到達目標	①西洋の社会思想の起源とその誕生、展開から現代的様相までを理解すること。 ②西洋の社会思想が、貧困問題や格差問題と関連していることを理解すること。 ③「印象」や「傾向」で社会を見るのではなく、「明確な展望をもって社会と向き合える能力」を養うこと。						
回	学習内容						
1	イントロダクション ～社会思想って何だろう						
2	古代ギリシアの「社会思想」 ～アリストテレス						
3	ルネサンス期の「社会思想」 ～ニコロ・マキアヴェリ						
4	映像学習日：独裁政治はなぜ現れるか（予定）						
5	近代民主主義思想の誕生 ～トーマス・ホッブズ、ジョン・ロック						
6	フランス啓蒙思想の展開 ～ジャン・ジャック・ルソー						
7	「市民社会」への反省 ～アダム・スミス						
8	映像学習日：資本主義社会と貧困問題（予定）						
9	社会主義思想の誕生と展開 ～カール・マルクス						
10	女性解放思想の誕生 ～ウルストンクラフト、J. S. ミル、ベーベル						
11	映像学習日：女性の社会的役割の変化について（予定）						
12	現代民主主義と社会思想 ～ユルゲン・ハーバマス						
13	現代の貧困と社会思想 ～アマルティア・セン						
14	21 世紀への社会思想 ～マイケル・サンデル、トマ・ピケティ						
15	人類の未来と社会思想						
予習内容 復習内容	予習：事前に提示した資料や参考文献に目を通しておく。 復習：プリントの内容を復習する。						
教科書	テキストは使用しません（毎回プリントを配布します）。参考文献は、城塚登『社会思想史講義』（有斐閣）、牧野広義『現代倫理と民主主義』（地歴社）。必要な資料等も配布します。その他、参考文献は講義中に提示します。						
成績評価	1. 講義中に実施する「ミニレポート」（意見提出。配点は約 40%） 2. 講義の最終日に提出する「期末レポート」（配点は約 60%）						
実務経験							
その他 特記事項	1. ドキュメンタリーの上映など、映像による資料を随時使用していきます。2. 授業で取り上げる思想家を変更することがあります。随時告知します。3. 第 1 週に詳細な「授業計画」ならびに「成績評価方法」、講師への問合せ方法を告知します。履修予定者は第 1 週にできる限り出席しておいて下さい。4. 現代の社会問題に関心の高い受講生の履修を求めます。						